

令和4年度 第2回

希望郷いわてモニターアンケート

消費生活に関する意識調査 報告書



いわて消費者トラブル防止啓発キャラクター

岩手県立県民生活センター

消費生活に関する意識調査結果について

I アンケート調査の概要

1 調査の趣旨

岩手県では、消費者被害のない地域づくりを進め、消費生活の安定と向上を図ることを目的に「岩手県消費者施策推進計画」を策定し、リコールや事故情報のホームページによる注意喚起、テレビやラジオを活用した広報、消費生活相談員の配置による電話や来所での相談対応など、様々な取組を進めているところです。

この計画は令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間としており、消費者を取り巻く環境や消費者意識の変化などを把握し、今後の施策展開等の参考とさせていただきたく、今回、希望郷いわてモニターの皆様の御意見をお伺いしたものです。

2 調査内容

- (1) 相談窓口の認知度について
- (2) 関心のある消費者問題、消費行動について
- (3) 消費生活上のトラブルや被害にあわないための方法について
- (4) 消費者教育について
- (5) 消費者問題に対する行政の取組について
- (6) 消費生活に関する意見や要望

3 調査期間 令和4年6月16日（木）～同年6月30日（木）

4 調査方法 調査紙郵送及びインターネット

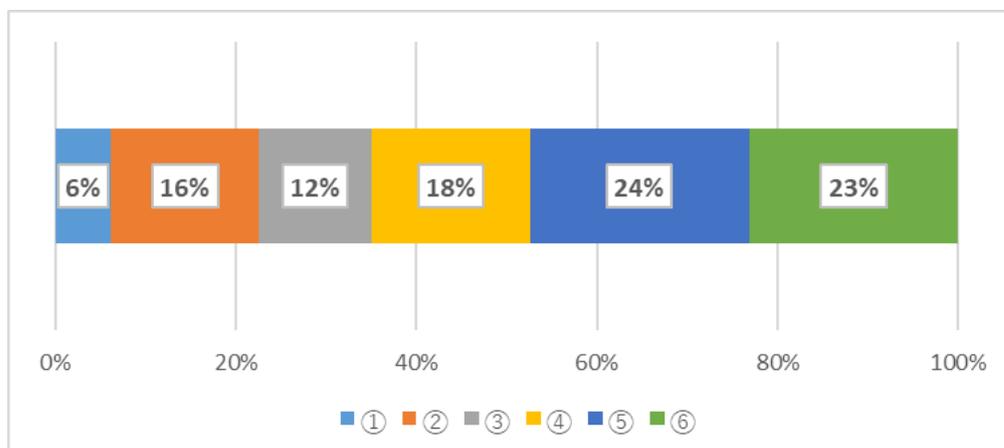
5 調査対象 令和4、5年度希望郷いわてモニター 200名

6 回答者数 177名（回答率88.5%）

7 回答者属性

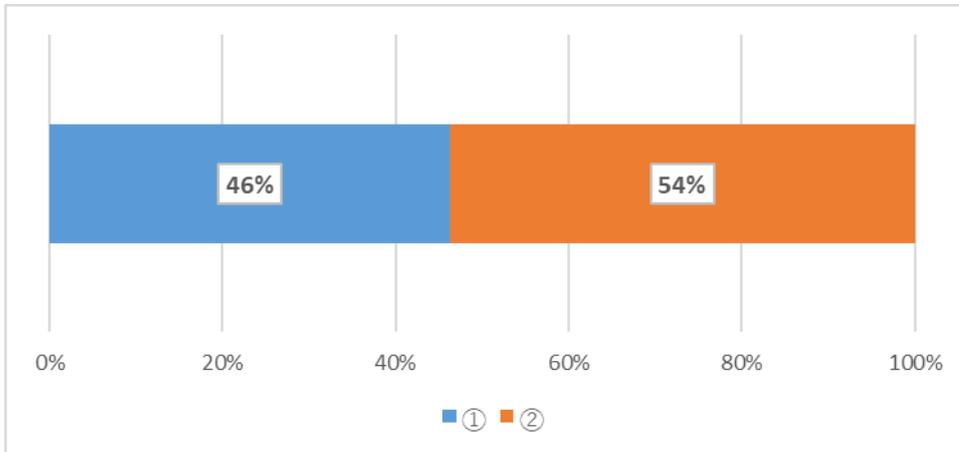
(1) 年齢

①29歳以下	②30～39歳	③40～49歳	④50～59歳	⑤60～69歳	⑥70歳以上
11	29	22	31	43	41



(2) 性別

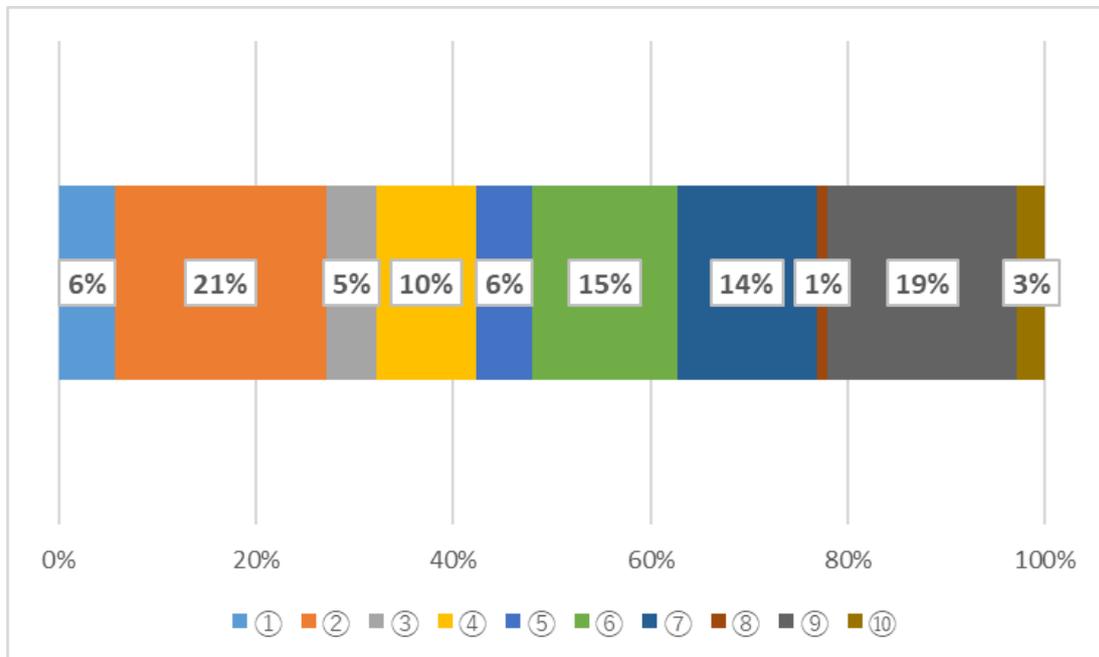
①男性	②女性
82	95



(3) 職業

①会社経営・役員	②会社員	③団体職員	④自営業・自由業	⑤農林水産業
10 (6%)	38 (21%)	9 (5%)	18 (10%)	10 (6%)
⑥パート・アルバイト	⑦主婦 (夫)	⑧学生	⑨無職	⑩その他※
26 (15%)	25 (14%)	2 (1%)	34 (19%)	5 (3%)

※⑩その他 (大学教員、町施設管理者、僧侶など)



Ⅱ アンケート結果

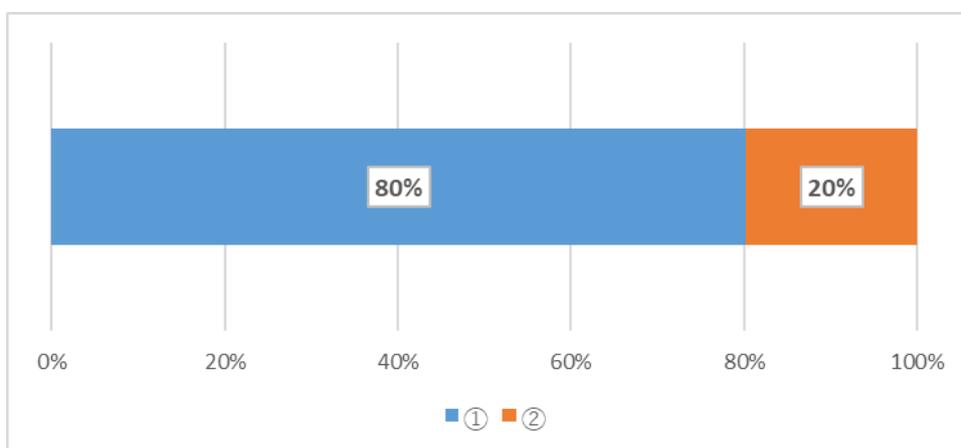
【相談窓口の認知度について】

問1 相談窓口の認知度についてお伺いします。

(1) あなたは消費生活の相談窓口（市町村の消費生活センター・消費生活相談窓口、岩手県立県民生活センター、国民生活センター）を知っていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

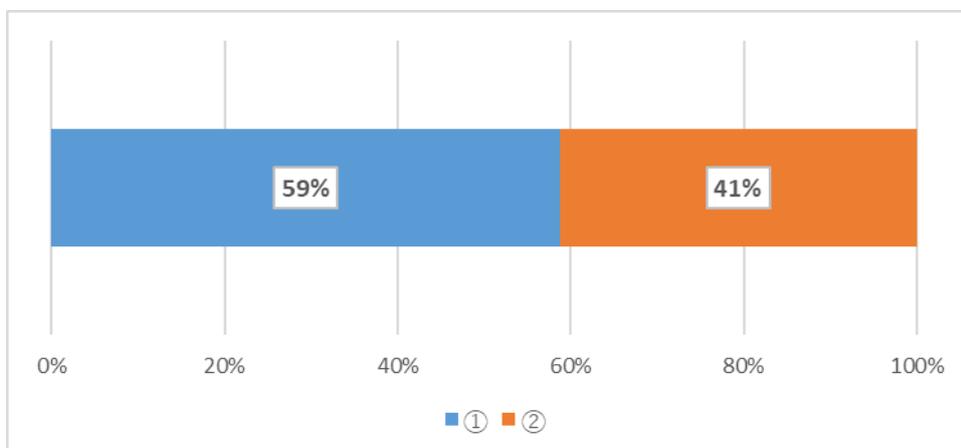
①知っている（いずれか1つでも）	142
②知らない	35
計	177



(2) あなたは消費者ホットライン「188（いやや）」を知っていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

①知っている	104
②知らない	73
計	177



- ・宅配は使わないようにしている。自分で買い物へ行き、商品を実際に見て、買うことが自分の行動範囲が広がって楽しい。
- ・食べ残しを減らす等食品ロスの削減、クールビズ、ウォームビズに努める。
- ・食品は賞味期限が近いものを買うようにしている。(廃棄されるのを防ぐ。価格が安い。)
- ・もったいないや、他に活用法がないかを常に意識したり、必要な方へ譲る。

【消費者問題に対する行政の取組について】

問5 消費者問題に対する行政の取組についてお伺いします。

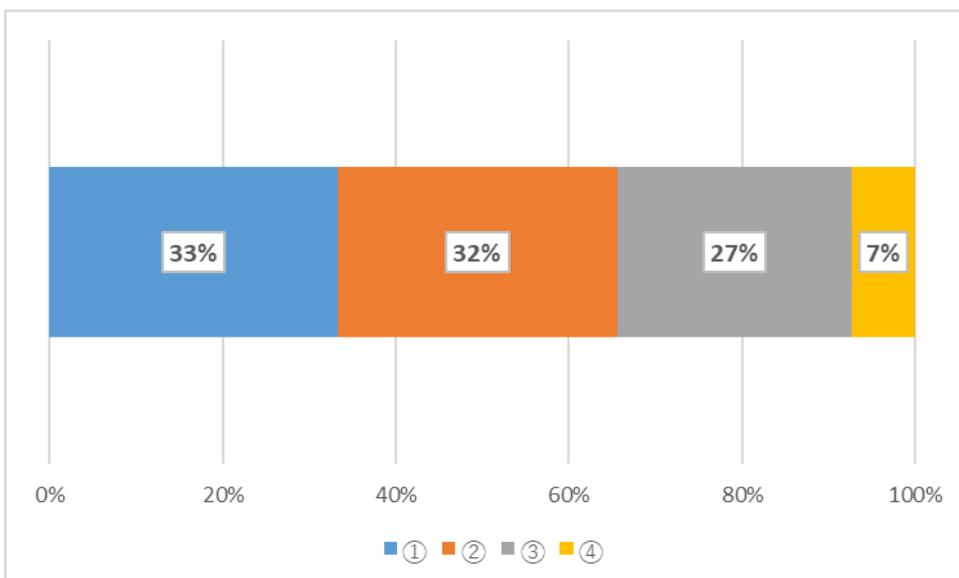
(1) 消費者問題に対する以下の行政の取組について、あなたはどの程度知っていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

ア 消費者被害やトラブルに関する注意喚起、広報啓発（パンフレットやチラシの配布、ホームページ、SNS等を通じた情報発信、キャラクター（まてのすけ）等を使ったテレビCMによる注意喚起）

- ① パンフレット、チラシ、テレビCM等を見たことがあり、トラブル事例等注意喚起や啓発の内容を理解している
- ② パンフレット、チラシ、テレビCM等を見たことはあるが、トラブル事例等注意喚起や啓発の内容までは覚えていない
- ③ パンフレット、チラシ、テレビCM等を見かけたことはある
- ④ パンフレット、チラシ、テレビCM等を見たことがない

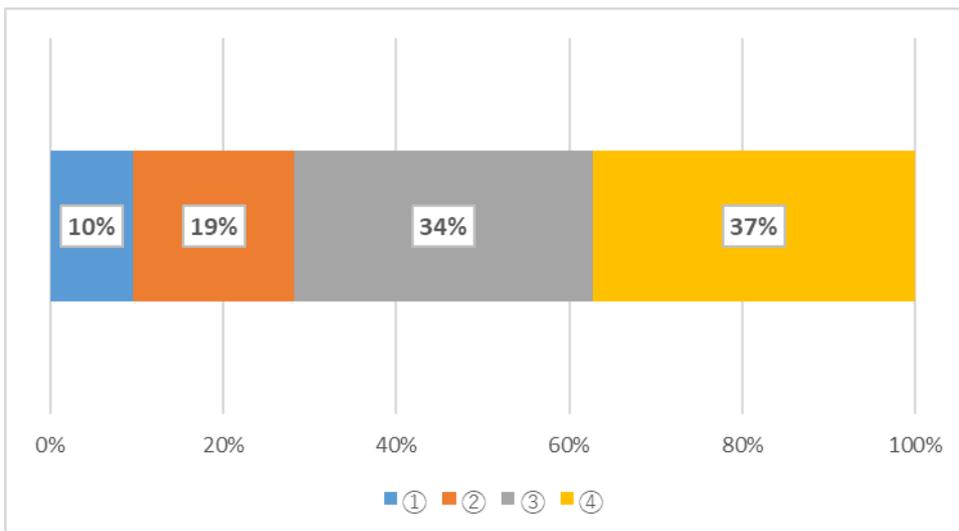
①	②	③	④	計
59	57	48	13	177



イ 学校や職場、地域での消費者教育（出前講座、消費生活セミナー等）

- ① 受講や参加をしたことがある
- ② 受講や参加をしたことはないが、どういう内容か知っている
- ③ 募集や告知を見たことはあるが、内容までは知らない
- ④ そういう取組をしていることを、今回の調査で初めて認識した

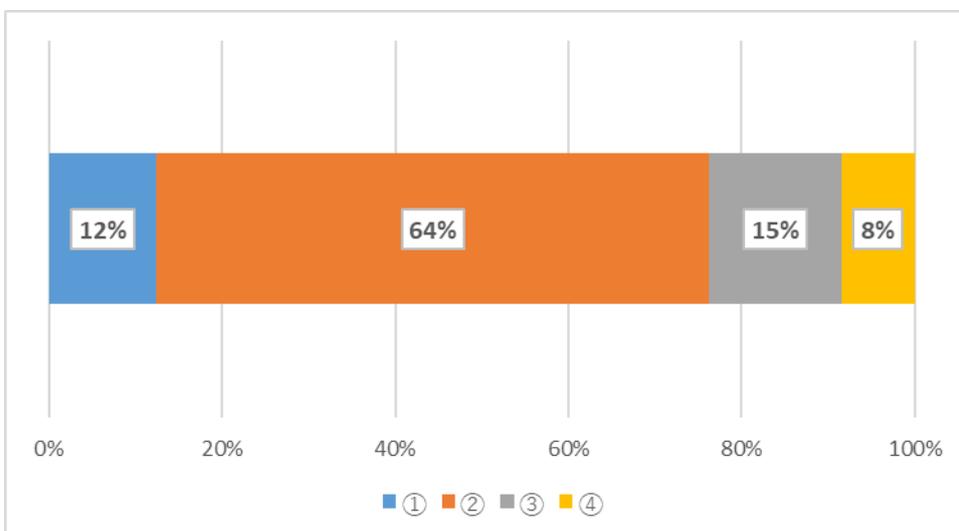
①	②	③	④	計
17	33	61	66	177



ウ 消費生活相談について（相談員による相談対応、弁護士無料相談等）

- ① 利用したことがある
- ② 利用したことはないが、相談窓口等があることは知っている
- ③ 相談窓口等の案内を見たことがあるが、何をしているかは知らない
- ④ 相談窓口があることを、今回の調査で初めて認識した

①	②	③	④	計
22	113	27	15	177



【消費生活に関する意見や要望】

問6 消費生活に関して、お気づきの点や御意見・御要望等があればお書きください。

1	特に、ネットによるトラブルがない社会にしてほしい。
2	消費者被害のない生活づくりを進めているようですが、自分には関係ないと思っている人や無知な人ほど、被害にあわれているような気がします。 家族や地域に対して、いかに有益な情報を伝えていくかが、今後の課題なのかなと思います。 また悪質業者の手口もますます巧妙になっているので、指導の強化や厳罰化を望みます。
3	実家の祖父がマネーリテラシーが少ないにも関わらず、複雑な仕組債などの金融リスク商品を十分な説明のないまま、地銀の担当者から購入していたことがあり、結果として数千万円規模の損害がありました。 特に高齢者の情報リテラシー向上や、金融機関への指導などを強化してもらいたいと感じています。
4	ネットで誇大な広告をよく見るような気がする。 つい購入してしまいそうになるので、取り締まりを強化してほしい。
5	消費生活問題の講習は、岩手県高等学校 PTA 連合会定期総会において、盛岡市のセンター職員のかたを講師に、『成年年齢 18 歳に引き下げにより懸念される問題』を今月はじめに学んできたところです。 わが家の子どもたちには、ゲームでの課金など月にいくらまでとルール作りをして、注意しているところです。 県内では未だにオレオレ詐欺で高齢者が多額のお金を騙し取られている事例や、悪質なワンクリック詐欺など手口も巧妙化しているように感じます。 県や市町村の行政や警察には、予防啓発活動とともに、必要に応じて学習会を開くなど、柔軟に消費生活問題に取り組まれることを期待します。
6	巷には「体に良い」「痩せる」「きれいになる」「たくましくなる」といった謳い文句で微々たる効果しか無いような食品や医薬品が溢れている。特にインターネット広告等を通じて、まだ教育が施されていないような若年層に対して刷り込むように表示されている。 とくに、小中高生あたりの利用率が高いスマホやタブレットの「無料アプリ」ではそういった広告が頻繁に登場する。 無料の対価として、広告を消費させられているが、これから広告には真偽が定かでないものが多く、毎日目にする事である意味洗脳されてしまうような状態もみかける。 このレベルの話に対する規制等は、地域行政単位では不可能だと思うので視聴する側の若年層や高齢層に対する教育・周知が非常に重要だと考える。
7	高齢者へのトラブル回避の徹底
8	小さい頃からの教育がとても大事だと思います。

	<p>小学校や中学校で、授業のカリキュラムに取り入れて、教えて行く事が必要だと思います。</p> <p>また、社会に出る直前等のタイミングで、更に踏み込んだ教育を望みます。</p> <p>実際に起きた事例集等を作って、児童生徒に渡す事も良いと思います。</p> <p>老人クラブの集まり等でも、今まで以上に、実例を示して周知する事が大事だと思います。</p> <p>そして、悪質業者の取り締まりや罰則等をより一層強化して、のさばらせない事が、何より重要な対策ではないでしょうか。</p>
9	<p>お年寄りの家庭では、聞いたことのある名前（例えばNTTなど）を利用した電話の場合、すべて受け入れてしまう可能性があるのも、何か日常と違う事象があったら近所のこの人（若い人）に聞くという仕組みを作ってあげる方が相談しやすいのではないかと思います。</p> <p>「聞いたら迷惑かな・・・」という気持ちを持たれる方が多いと思いますので、あえて地域（半径数百メートル単位）で一人任命するなど。</p>
10	<p>詐欺に気を付けるよう、いろんなところで話しがでていても、引っかかる人が身の回りにもいる。手口を聞くと、詐欺だと思わせないようになっていて、犯罪者の方が上手だと思う。個々がうまい話に疑問を持ち、納得できないことがあれば契約しないなどのしっかりとした考えを持つ、または、相談できる環境を作っておくことが大切だと考える。</p>
11	<p>消費生活について何となく、聞いたことがあるワードやトラブルにあった際の問い合わせ先があるんだな・・・と正直他人事に思っていた。自分が経験することで、改めてその知識の重要性、対処の仕方を知ることが出来た。</p> <p>以前、携帯会社のスマホ搭載のプリペイドカードの不正利用に合った。利用日と金額の知らせがメールで届き、身に覚えがなかったのでクレジット会社に問い合わせたが、ネット上の取引、プリペイドカードの残額に紐づいているクレジット機能を使っての不正利用の為、返金は難しいとの回答。</p> <p>この経験で「カードの残額は最低限」「アプリメニューの一時停止中の機能で都度解除後カード利用」するようにした。</p> <p>お金が勿体ない、情報が知られてショックと緊張で暗い生活を送る羽目に。</p> <p>数日後また不正取引をしたようだが、一時停止中にしていたため「残額不足のため決済不可」と受信メールが。</p> <p>ネット購入の機会が増え、通販会社に登録していたクレジットカード情報を乗っ取られた結果である。</p> <p>その後、携帯会社のセキュリティアップデート、段階認証回数が増えたおかげで被害は無くなった。</p> <p>一人で抱え込まず、恥ずかしがらず家族や知人にケースを知らせアドバイスを得たことで救われた。</p>

	<p>人によって相談相手は、家族や知人よりも電話や相談窓口や自治体の専門員が都合がよい方もいる。</p> <p>それぞれ気軽に被害を未然に防ぐことも重要だが、予期せぬ事で起きたり巻き込まれたりすることもある。弱っている人を責めずに今後に向けて相談相手や解決の糸口に結び付けられることも、大事だと思う。</p> <p>エシカル消費は、身近なところで取り組めるものと改めて知った。</p> <p>ひとつでも自信を持てるものがあれば無理せず続けられるし、次に繋がると思う。</p> <p>消費者がやっている取り組みを聞く機会(知る機会)があれば、もっと楽しくチャレンジ出来そう。アイデアややり方などリアルな声や体験談は響くし忘れないので。</p>
12	<p>消費者側がしっかり知識を持って生活することはもちろん大切ですが、悪徳情報や詐欺等は絶対に許してはいけないので取り締まり強化を望みます。</p>
13	<p>成人年齢の引き下げや、高齢化による詐欺被害の増加など、消費行動は変化していくものと思います。</p> <p>どんな年代の人に対しても、間違った消費や詐欺まがい消費させられた場合にどうすればいいか、窓口が明確にわかるような・気付けるようなサポート体制が必要だと思います。</p> <p>「不必要な消費」は何かと考えると、娯楽品などは人それぞれの価値観ですので一括りに考えるのは難しいですが、詐欺まがい無理やり買わされた物は明らかに不必要な消費です。</p> <p>そういった消費をなくすことができれば、ある意味、もっと別のものに対して消費できるという事でもありますので、たとえそれが娯楽品であっても経済を回すことに寄与するのではないかと考えます。</p>
14	<p>悪徳業者はあの手この手で消費者を狙っており、手法を変えてグレーゾーンギリギリで続けています。SNSが普及しているとはいえ、高齢者やインターネットを見ない人はまだまだいるので、そういった方の為に、地域の区長さんなどの声掛けが必要だと思いました。</p>
15	<p>ロシアのウクライナ侵攻に端を発し、食の安心・安全の関心は高まり日本の耕作放棄地を、再度蘇らせる食料自給率を高めるための抜本的対策を講じなければ、日本においても食糧難の時代が考えられます。</p> <p>日本国民すべてが危機感を共有し、食品生産に取り組むことの意識付けを構築させなければならない。</p>
16	<p>「まてのすけ」が被害に遭ってから「見破ったり」と言うのが可笑しいです。わざとなのでしょうか。</p> <p>家族で話せる家庭ばかりではないので、中学生、高校生にしっかり教えるべきだと思います。</p> <p>誰でも相談しやすい窓口が周知されると良いと思います。</p>

17	<p>食品の表示等の基準が改善ではなく、改悪、つまりは消費者のためではなく売る側の方に有利になっていると感じている。</p> <p>国は国としても県として、県民の生命や生活を守る意味で独自に安全性を示す基準等があってもいいのではないかとも思う。ただそれはいざ有事となった際に保障の問題が出てくるので簡単ではないと理解している。</p> <p>それでも添加物等については馬鹿正直なくらい書いてくださる方が、かえって信頼がわき、購買意欲につながると考える。</p> <p>お金の教育はちいさい頃から行う必要があると思う。</p>
18	<p>ネットショッピングや、電子決裁等、理解が深まる前に使用している消費者も多数いると思う。</p> <p>便利な購入、便利な支払いほど、トラブルも増えるのは周知不足が大きな要因だと思っています。</p> <p>外資系の会社含め、消費者教育の場に行政だけでなく、企業も積極的に介入すべきではないでしょうか。</p>
19	<p>よく見かける岩手防衛。八重樫選手や地域のアナウンサーなどのCMが最近見かけます。</p> <p>今までのCMと違ってインパクトあり見入ります。</p> <p>やはりテレビ・ラジオや広報など再度、繰り返し流していただけたら良いと思います。</p>
20	<p>作って売る立場から、ただ買うだけの生活者となって考えることはもっとも責任のある仕事をしてきたことに自覚がなかったように思います。</p> <p>自分のそして従業員の生活のために利潤を追いかけなければならない作業と思考の繰り返しの毎日でした。</p> <p>現状で生活をしている人たちは、同じようなものだと思います。倫理と利潤が区別なく行われる社会になれば良いと思います。</p>
21	<p>悪質業者は、手を変え、品を変えやってくる。</p> <p>重要なのは、私たち消費者が賢くなること。</p> <p>テレビの情報だけを鵜呑みにせず、常に危機感を持って自分事として捉える事が一番重要だと思います。</p>
22	<p>子どもがどのように自分たちの生活が成り立っているのかを理解していないことが多く感じる。ひと通り習ってはいるようだが、それが自分の今後の人生に関わって来るとは直結していないと感じる。もっと身近に感じれるような工夫が必要だと思う。</p>
23	<p>消費者トラブル防止啓発のチラシやCMでかなり多くみる、交通事故防止啓発よりも多く見るようになったが、トラブルは、後をたたない。</p> <p>事件や問題をもっと身近な事例として捉えにくいのか？響いてこない。特に金銭トラブルやSNSは、気づけば詐欺だと気がつくか気が付かないトラブルが多数あると思う。</p>

	<p>全て騙されていると疑わなければならないのか？不安になる。</p> <p>キャッシュレスの支払やクレジット払い、スマホ決済など不安は絶えない。おおいに取締りや、規制を強める方法も検討して欲しい。</p> <p>内容や意味も分からず、システム上、簡単、便利なだけ利用してしまう感じがある。</p>
24	<p>我々の親世代は、野菜、家畜、衣類、簡単な家具など生活に必要な多くのものを家庭で作っていた、もしくはそれらと交換することで他の生活に必要なものを手に入れていたと聞いています（小麦をつくって、小麦と麺を交換するなど）。</p> <p>当時は、そういう原体験があって、感覚的に「交換」についての仕組みがわかっていたと思います。</p> <p>今はお金を使って交換する（買う売る）ことがほとんどなので、感覚的に「交換」の意味を認識しづらい世の中になっていると思います。</p> <p>そもそも「交換」についての知識は生活にとって欠かせないものだと思うので、国語、算数と同じような重要度でお金（交換）について初等教育から教えることが重要だと感じます。</p> <p>本来的には家庭でやるべきだとは思いますが。</p>
25	<p>事業者は、商品を陳列する時に必ず値札をつけてから並べてほしい。某ショッピングセンターの青果売場は基本的な事をしていない。値段がわからず、聞くと対応がすごく悪い。お客とのトラブルのもと。</p>
26	<p>交通事故トラブルで、相談したことがある（行政）。納得のいく解決にならなくて、世の中に理不尽な人間もいる事に合い残念に思いました。</p>
27	<p>県、市の積極性が感じられない、そして、高齢者の「聞く耳持たず」の態度の改めが必要。</p>
28	<p>めまぐるしく変化する世界情勢により、身近な消費生活の変化に素早く対応して正しい情報を提供してほしい。</p>
29	<p>年金暮らしなので、高い物は買わないし、常に省エネを意識して生活している。</p>
30	<p>情報を受け取る事の少ない人（興味のない人）に対して、新しい形で情報を提供する（年金通知書・選挙投票場・確定申告時等）と抱き合わせにする。若い人にも届きやすいようにケータイ電話購入時に注意喚起パンフレットを渡すとか。</p>
31	<p>販売会社は日本のメーカー名だが、製造元は外国産の製品が多い。</p> <p>製造コストの問題だとは思うけど？なぜか違和感を感じます。</p> <p>できるだけ、メイドインジャパン製品（食品も含む）を購入したい。</p>
32	<p>高齢者の詐欺被害（オレオレなど）が一向になくならない。</p> <p>何か有効な対策が望まれる。（全国的に対策を募集してみてもどうか。賞金かけて！）</p>
33	<p>契約書や約款の記載が細かすぎて、内容が解らないまま、署名捺印させられ解約出来ぬまま購入させられることが多々ある。</p>
34	<p>行政の取組について良く知っていただくことが重要だと思います。（様々な機会での発信）</p>

35	<p>消費生活の安定と向上（公正）の視点から</p> <p>ある地域の給油スタンドの店頭価格表示（不表示）について、過去何度となく店頭表示するよう、新聞（地方紙）紙上に市民から投稿、掲載された、しかしながら未だに納得できる回答がないまま、不表示のガソリンスタンドが多い。多方面（地域）から来訪され給油される方々は単価が確認出来ぬまま給油し価格の高さにビックリ！支払いをしている。</p> <p>地域住民は単価（円/L）の県内一高さは以前より承知している、しかし利用者（お客様）は全国からである、酷評である！何故、店頭価格表示出来ないのでしょうか不思議である。一般的に価格表示は必須… 行政指導的な案件では（長年店頭価格不表示のまま）、如何でしょうか。</p>
36	<p>同じ家に住んでいても家計は別なのに、世帯で家計まとめられてトータルでお金あると判断され支給受けられないことが苦痛。行政の、【消費生活イコール世帯ごと】の価値観やめてほしい。</p>
37	<p>田舎では商店が年々減っている。そのためか、毎日宅配のトラックが走り回っている。ネットや宅配は便利だが、お店を利用して応援したい。自治体でも商店を応援するような政策を取って欲しい。</p>
38	<p>若い頃、強引な勧誘により化粧品等色々購入した事があり、その頃はクーリングオフという事も詳しく知らなかった。</p> <p>やはり教育の場で基本的な知識を身に付ける事がとても重要だと思います。</p>
39	<p>学校教育の社会・生活などの時間で、しっかりと子どもたちにレクチャーしないと、大人になるまで誰も教えてくれない。自分で身につけるしかない状況なので、何か起きてからみんなあわてているのだと思います。</p>
40	<p>高齢化社会とデジタル化社会の進展に伴う、消費者保護について、教育の充実をお願いします。</p>
41	<p>今後、サブスクリプションがトラブルの元になりそう。特にお年寄りや子供に対し啓蒙を行う必要性を感じる。例えば死亡後の解約手続きなど消費者保護制度が追いついていない。</p>
42	<p>食材はできるだけ、国産や地元のものを選んでいきます。地元の野菜を選ぶことで地域に少しでも貢献できればと思っています。</p>
43	<p>私は、消費者問題は各世代毎に異なることに着目し、高リスク回避から優先順位をつけ、消費生活安全診断をしました。</p> <p>高齢者では、電話詐欺・訪問詐欺等の特殊詐欺被害、また、若者では、ネット通販・送りつけ詐欺等のインターネット関連が、新聞・TV・ネットニュースでよく報道されています。また、女性では脱毛サロン等の分割払いローンについても、説明不足による法律ギリギリでの契約があるようで、親への相談がしづらい事案かと思っています。</p> <p>私は、10 数年前に、こども達がネットでテニス用品を購入しようとしていました。そのサイトはなにげにおかしく、試しに私が購入してみたら、送金されるが商品はこな</p>

	<p>いサイトでした。すぐに警察署に連絡し（当直の警察署のおじさん、ありがとう）、警察署のサイバー担当の方にサイトを提示し、先方の口座番号を伝え、数日後には、そのサイトはネットから消えていました。送金したお金は、銀行間で送金取消処理をしてもらい無事です。おとり捜査（笑）により、全国のテニス部員を守ることができました（＃．＃）。このように、ネット社会の現状により、子供達も危険にさらされています。</p> <p>被害にあった際に、まずは電話とはいえ、高齢者や身障者の場合、電話で詳しい内容はうまく話せないと思うため、自宅に伺う体制の構築が一番の安心です。また、若者の場合は、24時間Eメールで相談できる体制の構築が一番かなと思います。</p> <p>このことから、トラブルが起こった時にスムーズに相談できる窓口の拡大を優先的に考えました。</p> <p>岩手県は広大で、交通の便が悪いのが実情。地方自治体に協力要請し、自宅に職員がパソコンを持って伺い、オンラインで専門員に相談できるお手伝いの構築が良いのかなと思います。まずは、高齢者・身障者を優先に。</p>
44	成人の年齢が18才になったことからその方々の消費者被害発生を懸念します。
45	県内の物（生活用品、食品、工芸品、木工製品）を県民が、より多く知ること！！良い物であるゆえ、使用してほしい！！
46	消費者1人1人が正しい知識を持つことの方が大事だと思います。家庭や学校での教育、併せて困ったときの窓口がすぐ分かれば安心ではないでしょうか。
47	電子媒体利用が増えているなか、トラブルの増加も考えられます。相談窓口や「いやや」の認知度がどのくらいあるかわかりませんが、具体的な活動を知ってもらうような手段がないのかなと思います。相談後の流れにも興味があります。
48	20代の頃、風呂のパイプの掃除をすすめられて、5,000円支払った事があり、後でだまされたのでは、と反省した。無知は怖い。疑問を持つ心構えが大切だと思う。
49	消費者がパンフレットやチラシによる消費者被害やトラブルに関する注意喚起、広報啓発の促進を強化する。
50	巧妙化した勧誘で情報の届きにくい高齢者や、18才以上の若者へのサポートは地域や学校など身近なサポートはとても大事だと思います。
51	以前通販でチラシの写真とまったく違うものが届いたことがあり、市の弁護士相談に行ったことがあるが、結局会社を相手どってもめるより、送料を払って返品するのが無難という答えだった。行っても意味がなく、この先は利用しないと思う。物価は関東と同じなのに地方との収入の差が気になります。地方の小規模事業所にお金が入る仕組みがあればいいなと思います。
52	消費生活アドバイザー資質の向上のための研修の充実、消費生活行政の経験者の退職後の再任用
53	通信販売、テレビショッピング等で良く理解せずに定期購入に申込みしそうになった事があるので、ひと呼吸して考える様にしている。
54	特に悪質な事業者にはきびしい指導や取締りを強化する事を望みます。

55	パッケージの容量を「個」だけでなく「g」表記を義務付けて欲しい。
56	テレビショッピングで、よく「ただし、今から30分以内です」というCMを観ますが、すごくあおられている感じがして、こわいなと思います。
57	米の需要を増やす為に米粉パンの研究製造を促してほしい。家庭での省エネの為に公共施設に半日以上自由にいられるスペースをもっと増やす（デイサービスの事はしなくてもいいから）家の玄関まで来てくれる乗り合いタクシーの体制を整えていくべきではないか。
58	最近インターネット通販での買い物が増えており、それに伴いあやしいサイトも数多くあるため、購入する際は、細心の注意を払っている。今はかなり若いうちからスマホを利用しているので、若年層への教育が大切だと思う。
59	消費生活相談が、シキイが高い気がする。手軽にHPなどで相談できたら良いと思う。
60	通販サイトから購入したあと、しつこく更なる購入を勧める電話に困ることがある。この電話は定期購入販売の業者に多い。注意喚起して欲しい。
61	色々なことが、道路の石ころのようにころんでいる。コロナが終わったら各地域の消費者に対する懇談会等を実施する。
62	値上げなど過剰な買い置きなどしないようにしている。
63	内容も余りわからないが、カタカナ言葉が多く、興ざめするこの頃です。
64	3年前より1人暮らしになりましたので、生活には自分なりに注意しているつもりですが、メールが入って来て、今すぐ返信しないと損をするとか、したい文章で来るとえっと思う時があります。すぐ削除するのですが、こころおれている時とかのるかもしれないと思うとこわい。
65	実際考えてみると結構むずかしい問題です。購入するか？よく考えてみてから！
66	日頃、トラブルが起きない様な消費生活を送れる様、心掛ける事が大事と思いますが、もしトラブルに出会ってしまった場合、対処出来る様な相談窓口が身近にあれば安心です。
67	職場に「電気代が安くなりますよ」という内容の電話がかかってくる。それも同じような内容で、「いりません、やりません」と断るのも大変です。電力の自由化どうにか出来ないものか、と思います。
68	年配の方はSNS等を利用しないとか、自分が消費トラブルにあっている事を認識できないでいる方も居ると思います。特に一人暮らしの方へは、警察・民生員の方以外にも、配達員、集金人、ケアマネジャーさん等の顔見知りの方から、高額な物を買わされていないか、被害トラブルに対しての不安がないかこまめに声掛けする仕組みがあれば良いと思います。
69	ハガキ、ショートメール、Eメールなどでの勧誘や脅しなどへの対策はないのでしょうか？不特定多数への一斉送信メールに対し、事前に内容確認や指導ができればと考えます。

70	CMを見た事があります。キャラクターもいて分かりやすい内容になっていると思います。子供にもお年寄りにも伝わりやすいです。
71	子供の頃からの教育が必要だと感じます
72	<p>消費者問題ないし消費者トラブルと呼ばれる事柄は、民事と刑事の境界線上の問題であることが多く、相談すべき窓口も、市役所や県庁などの事務職、国家レベルの消費者庁、警察、法テラスなどを含めた法律家と、色々と在りすぎるためにかえって消費者には分かり難くなっているのではないかと思うことがある。</p> <p>改正民法の施行によって成人年齢が引き下がり、取消権の行使などでもトラブルの増加が予想されるが、専門的な知識のない被害者でも救済を求めやすい、利用者目線のシステム構築を目指してほしい。</p>
73	アンケートを通して、早い段階での教育が大事だと感じたし、大人になってからも何らかの形で金銭トラブル等について学べる機会があるといい。新聞、テレビ、インターネットなどを通して行政が働きかけることも大切だと思う。
74	<p>普段の生活のなかで、外国製より国産、他県より地元産を選んで買っているが、これも岩手で作っているんだと発見できるような企画があれば良いと思う。</p> <p>以前に盛岡のとあるレストランでコース料理を食べた際、シェフから「今日出た食材はホルトマト以外全て県産ですよ(トマトの季節じゃなかったから)」と教えてもらったことがある。食糧自給率が言われているなかで、こんなに幅広い食材を県産で賅えるというのは世界的に見てもすごいことなのではないかと誇らしい気分になった。</p> <p>食べ物に限らず、広い県土だからこそ、ずっと住んでいても知らないことはあると思う。</p> <p>個人的にはスタンプラリーとか、割引券とか、景品があれば嬉しい。</p> <p>消費者問題に対する行政の対応について、紙媒体か電子媒体かという選択肢があったが、紙媒体の方が記憶に残りやすいと思うので(電車内の広告とか)有効ではないかと感じている。</p>
75	<p>1度購入すると定期的に届く品物(定期便)を購入する際には、物が減らない場合は定期便を解除するように心がけている。</p> <p>また、初回無料で購入・登録出来る物やサイトに関しても出来るだけ初回無料期間内に解除するように気をつけている。</p>
76	被害者にとって、消費相談窓口は大きな力になりますので相談体制の充実をお願いします。
77	消費生活であまりトラブルを意識したことがありませんでした。もしもの時に、利用しやすい環境があれば良いと思いました。
78	買取専門店を使ってみたくないと断捨離をコツコツやっていますが、今ひとつ信用できません。良い店、そうではない店どうやって見分けられるのか、トラブルに会わない為、あった時、領収証の正規のもの、そうでないもの知りたい。